

敦賀発電所の近況について

敦賀発電所の近況について、以下のとおりお知らせします。

1. 運転状況について（平成 29 年 3 月 6 日現在）

1 号機 沸騰水型	平成 27 年 4 月 27 日 廃止* ¹ 平成 28 年 2 月 12 日 廃止措置計画認可申請書提出 第 33 回定期検査中* ² （平成 23 年 1 月 26 日～未定）
2 号機 加圧水型 （116 万 kW）	第 18 回定期検査中（平成 23 年 8 月 29 日～未定）

（ ）内は定格電気出力

*1:平成 27 年 3 月 17 日に経済産業省へ廃止に係る届出を提出した。

*2:法律上、定期検査は廃止措置計画の認可を受けた日をもって終了とみなされる。

<新規規制基準への適合性審査に係る申請状況>

	申請	申請日	補正日	許認可日
2 号機	原子炉設置変更許可	H27. 11. 5	—	—
	工事計画認可	—	—	—
	保安規定変更認可	H27. 11. 5	—	—

2. 故障等の状況について（平成 28 年 2 月 3 日～平成 29 年 3 月 6 日）

（1）法律に基づく報告事象

①敦賀発電所 2 号機 B 非常用ディーゼル発電機機関用シリンダ冷却水ポンプ軸の曲がりについて

平成 28 年 12 月 21 日、2 台ある非常用ディーゼル発電機のうち B 号機の点検に伴う試運転のため、ディーゼル機関を起動したところ、シリンダ冷却水の圧力低下を示す警報が発報し、自動停止しました。点検を行った結果、シリンダ冷却水を循環させるためのポンプの羽根車に割れが認められました。

羽根車に割れが発生した原因を調査するため、工場において当該ポンプを分解し構成部品の詳細点検を行っていたところ、平成 29 年 2 月 3 日、軸の一部が僅かに曲がっており使用できないことを確認しました。

（平成 29 年 2 月 3 日発表済み）

現在、軸が曲がった原因について調査を行っています。

(2) 安全協定に基づく異常時報告事象

① 敦賀発電所 2号機 B非常用ディーゼル発電機機関用シリンダ冷却水ポンプ軸の曲がりについて

前述(1)のとおり

(3) 保全品質情報等

① 敦賀発電所 2号機 機器ドレン蒸発装置給水フィルタ差圧計受圧部からの水漏れについて(原因・対策)

敦賀発電所 2号機は、第 18 回定期検査中のところ、平成 29 年 1 月 6 日 13 時 6 分頃、当社保修室員が、原子炉補助建屋地下 1 階(管理区域)の機器ドレン蒸発装置給水フィルタ差圧計受圧部にごく僅かな漏れ跡および、その下の床面に水溜り(約 15 cc)を発見しました。

本事象による周辺環境への影響はありません。

(平成 29 年 1 月 6 日お知らせ済み)

受圧部を取り外して調査した結果、フランジの合わせ面から漏れがあることが判明しました。また、受圧部はフランジの合わせ面にゴム板と U 字ボルトを沿わせて支持金物(サポート)に固定されており、ゴム板にフランジの合わせ面に食い込んだと思われる跡を確認しました。

調査の結果、漏れが発生した原因は、受圧部にゴム板が食い込みフランジを締めつける力の抵抗となった状態で、ガスケットの復元力が経年使用により減少したため、シート面圧が低下したものと推定しました。さらに、給水フィルタ内に空気溜まりがあり、系統圧力が通常より高い状態となっていたことも漏えいに至った要因の一つと推定しました。

対策として、漏えいした受圧部のガスケットを交換するとともに、受圧部の固定方法を変更します。また、系統の空気抜きを行う際の注意事項として、配管の高低差や空気が溜まり易い箇所を考慮する旨を社内規程に明確化します。

(別紙-1 参照)

3. 敦賀発電所 3, 4号機 準備工事について(平成 29 年 3 月 6 日現在)

(1) 建設準備工事

現在、原子炉建屋背後斜面の緑化維持管理等の建設予定地の維持管理を継続して行っています。

(2) 仮設工事関係

現在、コンクリート製造・供給プラントの設備維持管理等を継続して行っています。

4. その他

- (1) 敦賀発電所1号機の廃止措置計画認可申請書及び原子炉施設保安規定変更認可申請書の一部補正について

敦賀発電所1号機については、今後の廃止措置に向け、核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律に基づき、平成28年2月12日に廃止措置計画認可申請書を、同年8月31日に原子炉施設保安規定変更認可申請書を原子力規制委員会に提出しました。

その後の審査状況を踏まえ、平成29年2月10日、廃止措置計画認可申請及び原子炉施設保安規定変更認可申請の補正書を原子力規制委員会に提出しました。

(平成28年2月12日、8月31日、平成29年2月10日発表済み)

- (2) 廃止措置を踏まえた福井県原子力発電所準立地市町連絡協議会各市町との協定等の改定について

関西電力株式会社と当社は、美浜発電所1, 2号機及び敦賀発電所1号機の廃止措置に向け、平成29年2月10日、福井県原子力発電所準立地市町連絡協議会各市町(若狭町、小浜市、南越前町、越前町)と「安全確保等に関する協定書」等について改定しました。

(平成29年2月10日発表済み)

- (3) 中国電力株式会社島根原子力発電所の中央制御室空調換気系ダクト腐食に係る原子力規制庁からの点検指示に対する敦賀発電所1号機の点検調査結果について

当社は、平成29年1月18日に、原子力規制庁から中国電力株式会社島根原子力発電所の中央制御室空調換気系ダクト腐食に係る点検調査指示を受けました。

これに基づき、敦賀発電所1号機において点検調査を行い、その結果を取りまとめ、平成29年3月1日、原子力規制庁に報告しました。

点検調査の結果、敦賀発電所1号機の中央制御室空調換気系ダクトに異常はありませんでした。

(平成29年3月1日発表済み)

- (4) 敦賀総合研修センター平成29年度公開研修コースのご案内について

敦賀総合研修センターでは、平成29年度の公開研修コースの受講募集を開始しました。

この公開研修コースは、原子力に係る広範囲な知識の習得と技能の向上を図ることを目的として、様々なコースを開催しています。

平成29年度は、新たに「原子炉施設廃止措置工事学習コース」と「クリアランス入門コース」を開設し、廃止措置工事に興味のある企業の方々に、より幅広い知識や技術を習得して頂けるようにしています。

詳しくは弊社ホームページをご覧ください。<http://www.japc.co.jp/tsuruga-training/>

なお、公開研修コースは、福井県が進める「エネルギー研究開発拠点化計画」における取り組みの一つです。

(5) げんでんふれあいギャラリー催物のご案内について【開館時間：10時～17時】
＜個人・グループでの芸術活動、趣味の発表の場としてご利用頂いております＞

①第10回 絵手紙にしき会 めぐり逢いの世界展

発足16年目の絵手紙にしき会（代表：林悦子様）の75名の皆様による作品展です。四季折々の果物や野菜、花をモチーフにした作品や美しい風景に感動した時の心模様を表現した作品を1,000点展示予定です。

（3月14日～3月19日）

②洋画教室「カリコール」夢をかたちにすばらしい仲間たち

敦賀市西公民館自主学习教室洋画教室「カリコール」（代表：増田貢一様）の16名の皆様による作品展です。教室で描いた作品を中心に油彩画、水彩画、デッサン等を25点展示予定です。

（3月21日～3月26日）

③南公民館自主学习教室 第6回「写団・フォト南」例会展

写団・フォト南（代表：松永節夫様）の12名の皆様による写真展です。風景やお祭りと、身近な題材で過去1年間“精いっぱい”撮影した作品を36点展示予定です。

（3月28日～4月2日）

以上

敦賀発電所 2号機

機器ドレン蒸発装置給水フィルタ差圧計受圧部からの水漏れについて（原因・対策）

敦賀発電所 2号機は、第 18 回定期検査中のところ、平成 29 年 1 月 6 日 13 時 6 分頃、当社保修室員が、原子炉補助建屋地下 1 階（管理区域）の機器ドレン蒸発装置^{※1} 給水フィルタ差圧計受圧部にごく僅かな漏れ跡および、その下の床面に水溜り（約 15cc）を発見しました。

本事象による周辺環境への影響はありません。

※ 1：放射性廃液を濃縮処理する設備

（平成 29 年 1 月 6 日お知らせ済み）

受圧部を取り外して調査した結果、フランジの合わせ面から漏れがあることが判明しました。また、受圧部はフランジの合わせ面にゴム板と U 字ボルトを沿わせて支持金物（サポート）に固定されており、ゴム板にフランジの合わせ面に食い込んだと思われる跡を確認しました。

調査の結果、漏れが発生した原因は、受圧部にゴム板が食い込みフランジを締めつける力の抵抗となった状態で、ガスケットの復元力が経年使用により減少したため、シート面圧が低下したものと推定しました。さらに、給水フィルタ内に空気溜まりがあり、系統圧力が通常より高い状態となっていたことも漏えいに至った要因の一つと推定しました。

対策として、漏えいした受圧部のガスケットを交換するとともに、受圧部の固定方法を変更します。また、系統の空気抜きを行う際の注意事項として、配管の高低差や空気が溜まり易い箇所を考慮する旨を社内規程に明確化します。

